

献辞

播磨信義先生は、二〇〇二年八月一二日、急逝されました。享年六〇才の若さであり、法学部にとっては、まことに痛恨の極みであります。

播磨先生は、一九八七年九月に本学に赴任され、本法学部の教員として憲法の分野で、研究・教育に多大の貢献をされました。一九九九年から二〇〇一年にかけて、法学部長として法学部の研究環境の改善や教育改革に邁進されました。とりわけ、法科大学院設立の是非を判断する際には、強力なリーダーシップを発揮されました。それゆえ、この度の法科大学院の設立を先生にご覧いただけなかったことは、残念でなりません。さらに、先生は、法人機構の改革にあたり、いわゆる「播磨レポート」を作成され、今、次第にその成果が実りつつあります。このように、本法学部のみならず本法人は、播磨先生による多大な貢献の上に大きく動きつつあるといっても過言ではありません。また、播磨先生は、学外にあっては数多くの人権問題に取り組まれ、生活の中に憲法をいかすご努力を重ねられたようであります。

播磨先生の本法学部へのご貢献に感謝し、また、そのご活躍を偲び、ご霊前に本追悼号を捧げ、ご冥福をお祈りするとともに、今後、一層の精進をお誓いする次第であります。

二〇〇四年四月

法学部長 岡田豊基